

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：平成30年10月25日

事業所名：医療福祉センター のぎく 重症  
心身障害児・者通所サービス ほっと

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員の増加に伴い手狭になってきています。	はい:10名 どちらともいえない:3名 もう少し広いスペースがあるといいと思う	多目的室を昨年より整理し、場所を有効活動できるように改善しました。
	2 職員の適切な配置	法令で定められている人数以上を配置しています。	はい:12名 わからない:1名	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリー化で対応しています。	はい:13名	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	活動に合わせて物品の配置を変えています。	はい:13名	多目的室を整理しグループ分け等で活動しています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的に支援会議を実施しています。	/	継続して実施していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない	/	機会があれば実施したいと思います。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的に事業所内研修や外部研修に参加し、職場内で共有しています。	/	継続して実施していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時にアセスメントをとり、定期的に会議を行い計画書を作成しています。	はい:12名 どちらともいえない:1名	1人の利用者様に対し6か月に1回会議を開催し、個別支援計画書を作成していますので、6か月毎に説明させていただきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状態や障害特性に合わせた活動の提供に努めています。	/	継続して実施していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画に目標と支援内容を記載しています。	はい:12名 どちらともいえない:1名	次回よりもっと詳細に記載していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	共通目標に対して職員で支援を取り組んでいます。	はい:11名 どちらともいえない:1名 わからない:1名	支援した内容を定期的に報告していきたいと思えます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月1回療育会議を実施してプログラムを立案しています。		継続して実施していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	支援会議にて話し合いを行っています。		継続して実施していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定の活動や季節の活動など多くのバリエーションになるようしています。	はい:12名 わからない:1名	ひと月の活動プログラムをお便りに記載しております。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	役割分担やその日の利用者様の情報を共有しています。		非常勤職員もいるため、職員間の連絡帳をもっと活用していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	活動後や終わりの会で振り返り等実施しています。		継続して実施していきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援の記録し、カンファレンス時に活用しています。		担当者が支援記録を行っているが、支援の検証・改善につながる記録にしています。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヵ月に1回実施しています。		継続して実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援員事業所からの依頼には積極的に参加しています。		会議前にもっと職員から情報を収集してから参加します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	必要に応じて情報交換を行っております。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	必要に応じて情報交換を行っております。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	書面や担当者会議に参加して情報提供を実施しております。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	書面や担当者会議に参加して情報提供を実施しております。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	担当者が県や町の研修を受講しております。		継続して実施していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施しておりません。	はい:2名 どちらともいえない:1名 いいえ:2名 わからない:8名	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	活動の一環で買い物や近隣の公園等に出かけています。		継続して実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明しております。	はい:12名 どちらともいえない:1名	今後もっと丁寧に説明していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	時々簡素化している時があったように思います。	はい:11名 どちらともいえない:2名	今後もっと丁寧に説明していきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	相談に応じる体制を作っています。気が付いたことは保護者に話しております。	はい:6名 いいえ:1名 どちらともいえない:5名	継続して実施していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時に状況を伝えています。	はい:13名	継続して実施していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	看護師、理学療法士等が適時しております。	はい:11名 どちらともいえない:1名 わからない:1名	継続して実施していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	夏祭り後に開催しております。	はい:5名 わからない:8名	情報をもっと周知していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対応する窓口を契約時説明していません。	はい:9名 わからない:3名 苦情を言った事や不満に思ったことがないので。クレーム的なことがないのでわかりません	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カードやタイムタイマーを用いたり、連絡帳を活用しています。	はい:13名	継続して実施していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	日々の活動の様子をホームページに載せております。また毎月お便りを発行しております。	はい:13名 いつも楽しみにみえています。	継続して実施していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に確認書で説明し、職員にも指導しています。	はい:13名	継続して実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアル作成しております。	はい:7名 どちらともいえない:1名 わからない:5名	契約時より詳細に説明していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年数回避難訓練を実施しています。	はい:6名 わからない:7名	避難訓練に関する内容を個別支援計画書に記載し、お便り等で周知していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	研修は実施できていません。		今後研修を実施していきたいと思えます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に確認書で説明し、職員にも指導しています。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	聞き取り時に確認しています。		今後定期的に医師から指示書をもらいます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットを記入しているが、共有の徹底が不十分などもある。		職員間の連絡帳をもっと活用していきます。
満足度	1 こどもは通所を楽しみにしているか		はい:12名 わからない:1名 子ども親もすごく満足してます。 表情や言動から楽しんでいるのがわかります	ありがとうございます。これからも楽しんでいただけるように努めてまいります。
	2 事業所の支援に満足しているか		はい:13名 ありがとうございます。 利用頻度は少ないですが、安心して預けられる唯一の施設です。 いつも相談にのっていただきありがとうございます。	ありがとうございます。これからも安心してご利用いただけるように努めてまいります。